

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/08/13 ～2017/08/31)

1. 勉学の状況

14日から留学生向けのオリエンテーションがあり、23日からはいよいよ秋学期が始まりました。履修する授業については渡航前からある程度決まっていたのですが、授業が始まる2日前に登録していた授業が急遽取れなくなったと言われ、急いで代わりにする授業を探しました。またアラバマ大学での授業は交換留学生だと取れないものや Prerequisites が必要なものがあつたので選ぶのに少し苦戦しましたが、教授に直接メールで交渉したり、聴講でも取れないかお願いするなどして、ようやく授業を決めることができました。今期は「Second Language Development (聴講)」「Linguistic Approach to English Grammar」「Intro to Linguistics」「Academic Speaking」「Elementary Chinese」の5つの授業を受講します。とても楽しみです。教科書ですが、1冊1～2万円するものもあり日本と比べると高いと感じます。私は大学内の教科書販売ブースで買い揃えましたが、ネットでより安く手に入れている友達もいました。授業はまだイントロダクションが多いですが、毎授業ごとに宿題が出たり、小テストや期末課題に向けての準備なども始まったので、コツコツと課題をためずにやっていけるようにしたいです。

2. 生活の状況

無事アラバマ大学に着き、寮に入りました。私は今回の留学前にも千葉大学のプログラムで一度アラバマ大学へ一カ月の短期留学をしたことがあったので、着いてからは「何もかもが新鮮！」というよりは「ああ、懐かしいな」という気持ちになりました。ですが、今回は一人での留学のためとても不安だったので、飛行機のトラブルもなく無事到着できてほっとしました。

■寮について

私の住んでいる寮は、留学生と UA (University of Alabama) の学生、合わせて15人ほどが住む小さな家のような寮です。キャンパスの中にあり、BUS HUB も近いのでとても便利です。部屋はイングランドからの留学生とルームシェアをしており、キッチンと洗濯機は寮で共有のものを使っています。一階には大きなリビングルームや卓球、ビリヤードができるスペース、中庭などがあるので、時間があるときに留学生や UA 学生と交流して楽しんでいます。



■キャンパスについて

キャンパスはとても大きく、また建物の外観がすごくきれいです。ただ、建物内は冷房がよく効いていて少し寒いです。来る前は「アラバマは暑いから、しばらく長袖は着ないだろうな」と思っていたのですが、8月でも常に長袖の羽織ものやジャンパーを持ち歩いて着ています。自然もたくさんあります。大きな芝生の広場があったり、歩いているとリスもよく見かけます。癒されます。

**■イベントについて**

8月はキャンパスツアーや映画鑑賞、マラソンなど大学内で様々なイベントが開かれていました。イベントに参加するとサンドイッチやホットドック、クッキーなどのFree Foodがもらえることが多く、着いたばかりで余裕がなかったときはとても助かっていました。下の写真は、Tuscaloosa International Friend (TIF) という、現地のホストファミリーを紹介してくれるイベントのパーティーに参加した時の写真です。イベントではホストファミリーが迎えてくれたほか、カントリーミュージックを聞いたり、たくさんのお菓子をいただきました。どれもとても美味しかったです。また、21日には幸運なことに、solar eclipse を見ることができました。当日は広場にたくさんの人が集まっており、専用のメガネを使ってみました。貴重な経験でした。



まだまだ慣れないことやできないことも多いですが、来月は少しでも多く自分の興味のあることにトライしたり、友達とキャンパス内外のいろいろなところに出かけてみたいです！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2017/09/01 ~2017/09/30)

1. 勉学の状況

本格的に授業が始まりました。9月前半はアラバマ大学の授業システムに慣れておらず混乱しましたが、3, 4週たってようやくリズムをつかめてきたように思います。授業の仕組みについて少し紹介します。アラバマ大学では、授業ごとに50分が週3回、75分が週2回、150分が週1回、などコマ数と時間が異なり、始まる時間もバラバラなので、授業時間が重ならないように気をつけて時間割を組んでいきます。授業で使われるスライドやシラバスは Black Board という学生専用ページから確認で



き、課題提出などもこのページを使って行われます。こちらに来てから驚いたのが、シラバスが授業においてとても重要だということです。宿題やテストの日程、評価基準などがオンラインシラバスに細かく書かれており、授業によっては課題が授業内でリマインドされず自分で確認しなければならないものもあります。授業が始まって最初の1, 2週間はこのシステムを知らず、何度か課題を提出しそびれてしまいとても落胆しましたが、今ではしっかりと提出しています。今期の授業内容についても少し書きたいと思います。

■EN 613 Second Language Development (聴講)

TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages、他言語話者に対する英語教授法) 専攻の大学院生向けの授業に聴講生として参加しています。授業では第二言語習得に関する様々なトピックについてディスカッションをします。10人ほどの小規模なクラスで、すでに教師経験がある方やバイリンガルの方などいろいろな学生の経験や意見を聞きながら考えを深めています。この授業では、英語以外の言語の例としてスペイン語や中国語などとともに日本語の例がよく扱われるので、日本語という言葉の特徴についても改めて考えさせられます。

■EN 321 Linguistic Approach to English Grammar

英語の文法の分析と、ネイティブ・ノンネイティブの学習者に対する文法指導のポイントを中心に学んでいます。「教育の場で使われる英語の文章を分析する」という期末課題を、学期を通して少しずつ進める形式で、私たちのグループはハリー・ポッターの文章の一部分を使って文法の分析を進めています。

■EN 320 Intro to Linguistics

言語学全般に関する授業です。授業の名前は Intro ですが、より基礎的な内容はこれよりも番号の低い200番台の授業で行われるため、この授業では一つ一つのトピックについてより細かく見ていく、という感じで

す。千葉大学の授業で学んだ内容が扱われることも多く、復習をしつつさらに知識を深めたいです。

■ELC 110 Academic Speaking

留学生向けの英語のスピーキングの授業で、アラバマ大学附属の ELI という語学施設で行われています。プレゼンテーションやディスカッションの練習、ボディーランゲージの使い方などを学んでいます。

■CHI 101 Elementary Chinese

中国語の初級の授業です。他の授業とのバランスや課題の負担を考え、自分の専門分野とは少し違った授業も取ってみよう、と思い受講しています。英語を使って新しい言語を学ぶのはとても新鮮で、友達とスキットの音読練習や発音の反復練習をするなど、とても楽しく学んでいます。

2. 生活の状況

新しい出会いや初めての経験がたくさんありました。まず、9月上旬の Labor day というアメリカの祝日に、大学近くの湖にキャンプに行って湖で泳いだりバーベキューをしました。初めてのキャンプの経験でしたが、アメリカの大自然に囲まれて、映画やディズニーランドで見るとような景色を肌で感じる事ができました。さらに9月下旬には Retreat Camp というキャンプに参加し、カヌーやハイキングなど様々なアクティビティを体験しました。このキャンプには他の大学からもたくさんの学生が参加しており、アメリカ人学生や 17 か国から集まった留学生と一緒に活動を楽しみました。



■アメリカンフットボールについて

9月からアメリカンフットボールの学生リーグが始まりました。アラバマ大学はアメフトが強いことで有名で、ホームゲームのある日には大学内が午前中からお祭りのようににぎわい、大学全体で盛り上がります。私も2回ほどスタジアムに試合を見に行き、はじめて生のアメフトの試合を見ました。学生の試合とは思えないほどたくさんの観客がいる中で、アラバマチームを叫んで応援しました。



■卓球クラブについて

9月上旬に“Get On Board Day”という、千葉大学のサークルの日のような新歓イベントがありました。あいにくの雨で小規模になってはしまいましたが、様々なクラブやボランティア団体がブースを用意して活動を紹介していました。私の中からアラバマ大学の卓球クラブを見つけて入り、週2回の練習にできる限り参加しています。このクラブでは大学生だけでなく大学院生や教授も一緒に練習をしているので、普段の生活や授業では関わらない新しい仲間とも出会うことができました。10月と3月には近くの州で大学リーグの試合があるそうなので楽しみです。



来月は中間テストや期末課題の中間発表があります。少しずつ気温が低くなってきたので、体調管理にも気をつけながら準備をしていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2017/10/01 ~2017/10/31)

10月のアラバマは心地よい秋の季節でした。朝晩は冷えますが昼になると気温が上がって温かくなり、毎日の通学がとても気持ちがいいです。特に天気の良い日には、空きコマや授業後の時間を使って大学内を散歩し、この広いキャンパスを徐々に開拓しています。



キャンパス内の建物の様子

1. 勉学の状況

今月は言語学と中国語の授業で中間テストがありました。第二言語習得の授業にも中間テストがあったのですが、私は聴講生として参加しているためテストは受けませんでした。小テストなどは学期初めから行われていますが、中間テストは成績の比重も高いので身構えて臨みました。全問選択式のテストを受けた友達もいましたが、私の言語学のテストは記述式の問題が多く、時間との戦いになりました。何とか最後まで粘りましたが、結果はまだわかりません…。中国語のテストはリスニング、記述式、オーラルプレゼンテーションに分かれて行われました。こちらは普段の小テストと似た内容だったので、わりかしできたと思います。期末テストに向けて、授業内容の理解とともに英語力も上げていかなければ、と感じた初めての中間テストでした。

聴講している第二言語習得の授業では、中間テストのほかに、期末課題の進捗状況を確認するための中間レポートの提出がありました。このプロジェクトは、第二言語習得習得に関して自分の興味のあるトピックを一つ決め、文献調査、データ収集、分析を行ってレポートにまとめる、というものです。私は、日本人が英語を話すときに感じる不安についてアンケート調査を行って分析することにし、データ収集と同時に関連する論文を読みながらレポートを進めています。このように自分でデータを取ってレポートを書くことは初めてなので、一つ一つの過程がとても新鮮で、大変ですが楽しんで取り組むことができます。

早いもので秋学期も後半に入り、春学期の授業登録も徐々に始まりました。12月はほとんど期末テスト週間に入るので、来月で授業内容はほとんど終わります。残り約一カ月の秋学期の授業から、より多くのものを得られるようにしたいです。

2. 生活の状況

アラバマ大学の周りには遊べる場所がそこまで多くなく、車を持っていないと勉強以外特にすることがありません。そのためか、大学内では平日、休日関わらず様々なイベントが開かれています。

■ハロウィーン

10月31日にかかわらず、一か月を通して仮装パーティーやパンプキンカービングなどたくさんのハロウィーンのイベントが開かれています。私もいくつかのパーティーに参加し、ハロウィンメイクをしたり、初めてのパンプキンカービングを体験しました。カービングでは、オレンジや白のカボチャをくりぬいてオリジナルのカボチャをつくり、できあがったものをみんなで寮の前に飾りました。31日当日ですが、残念なことに私は前日から体調を崩してしまい、ベッドの上でいつもと変わらぬ景色のまま一日を過ごしました(泣)。ですが、翌日友達に話を聞くと、授業や学内で仮装した人がたくさんいた話を聞いたり、その写真を見たりしてとても面白かったです。



ハロウィーンに関するイベントだけでなく、10月は様々な国の文化紹介イベントも開かれています。4日は中国の中秋節という大きな祝日だったようで、アラバマ大学でもイベントがあったほか、私は中国人の友達に教えてもらって中国で中秋節に食べるという月餅をアジア食料雑貨店で買って食べました。また別の日には Diwali というインドのヒンドゥー教のお祭りを紹介するイベントに参加し、スパイシーなインドのカレーを食べたり、ヘナ外ウーという2.3日限定の外ウーも試しました。こうして様々な国の文化をたくさん体験できるのも、たくさんの国から留学生が集まるアラバマ大学ならではのことだと感じました。



← ヘナ外ウー

3、日本語ボランティアについて

大学での授業とは別なのですが、この留学で日本語や日本文化を伝えるボランティア活動にも力を入れているので、そのことについても書きたいと思います。現在、二つのボランティアを行っています。一つは、アラバマ大学で日本語を学んでいるアメリカ人学生と日本語での会話練習を行う「カンバセーションカフェ」の運営、もう一つは、大学があるタスカルーサの町に住む方に日本語や日本文化を伝える「アウトリーチプログラム」の活動です。

■カンバセーションカフェ

日本語を話す機会を作ることを目的として、週一回約一時間、日本人学生と日本語を勉強しているアメリカ人学生が集まって活動します。カフェでは、日本人学生が毎週交替で日本文化を紹介するプレゼンテーションを行ったあと、小さなグループに分かれて日本語で会話をします。会話の内容は様々で、その日のプレゼンのトピックについてや週末の出来事、アメリカ人学生が日本語の授業でわからなかったことなどです。このとき日本語を学び始めたばかりの学生とはどうしても会話が英語メインになってしまいがちなのですが、ゆっくりでもいいので日本語を使って会話するよう意識していきたいなと思います。プレゼンではこれまで日本のお祭りや折り紙、渋谷、箸などについて扱い、私も10月上旬に日本の学校給食についてビデオを使って紹介しました。どのトピックもアメリカ人学生に興味をもって聞いてもらったのでとてもよかったです。特に、折り紙の歴史については日本人の私も知らないことがたくさんあり、自分自身も日本文化を振り返ることができました。



↑ 折り紙の鶴をみんなで折りました

■アウトリーチプログラム

こちらは、学期に 1, 2 回と回数は多くありませんが、今月初めの活動があり、タスカルーサのダウンタウンにある幼稚園に行って 5~7 歳の子どもたちに日本語の簡単な挨拶の紹介と紙芝居の読み聞かせをしました。活動では、手作りのお金で子供たちが駄菓子を買って、それをもって紙芝居を聞く、という日本の昔ながらの紙芝居の形式を先生が提案していただき、それを再現する形で行いました。紙芝居の実演では、一寸法師の物語を英語で読むことに挑戦しました。年長クラスの子たちは集中して聞いてくれましたが、5歳のクラスの子たちには少し難しかったようで、次回に向けて改善が必要だと思いました。それでも、現地の子どもたちと関わったり、日本の文化を伝えられたことはとても良い経験でした。



↑紙芝居(一寸法師)の読み聞かせの様子

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01 ～2017/11/30)

キャンパスには紅葉した木々が立ち並び、秋の深まりを感じます。11月のビックイベント、サンクスギビングが終わってからは、期末テストとクリスマスに向けての準備が一気にやってきました。テストに向けて最近よくお世話になっている図書館にも、ツリーやリースの飾り付けがされています。秋学期もラストスパートです！



1. 勉学の状況

アラバマ大学では11月下旬から12月中旬にかけての期末テストの時期に入っています。レポートを書くにあたっては、学生が無料で利用できるライティングセンターで添削してもらってから提出するようにしており、センターで働くアメリカ人学生からレポートの構成や文法などについて一対一でアドバイスをもらえるのでとても助かっています。今期の授業それぞれについて、内容を振り返りながらまとめたいと思います。

● Second Language Development

この授業では、第二言語習得に関する様々なトピック（語彙の習得、第一言語習得と第二言語習得の関係、インプット・アウトプットの役割、年齢やモチベーションなど言語以外の影響、など）について、ディスカッションをしながら学んできました。私が発言できたのは日本語の例や自分の経験についてのみで、授業のほとんどは教授や他学生の話聞くことがメインでしたが、その中でもたくさんことを学びました。特に、授業で英語以外の言語の習得するときの特徴や困難な点、第二言語の習得だけでなく第三言語、第四言語はどうか、といろいろな種類の言語習得を扱ったことで、改めて日本人が英語を外国語として学ぶときに必要なことはなんだろう、と考え直すきっかけになりました。現在は各学生のリサーチプロジェクトをシェアする発表を行っており、他の学生の発表を聞いています。とても興味深いです。自分の研究ですが、聴講で成績にかかわらないという安心感からしばらく進める

ことができていないので、今学期中に何とか形にできるよう頑張りたいと思います。大学院生向けの授業に無理を言って参加させていただいたのですが、この授業を受講出来て本当に良かったです。

- Linguistic Approach to English Grammar

この授業は、今期最も悩まされた授業だと感じます。扱うトピックは主に英語の文法に関してなのですが、「この表現は、文法的なルールから見ると間違っているけど、日常生活では使うよね。」というような例が頻繁に取り上げられ、今まで私は「この使い方は文法的に正しくないからだめだ」と考えがちだったので、授業を通して「正確な文法」と「実際に使われる文法」は必ずしも同じではない、ということに気づくことができました。ハリーポッターの文章の分析では、同じ文章を「単語」、「句」、「節」、「時制」、「態」、「法」など様々な文法の面から繰り返し読み込み、その使われ方が違うタイプの文章とどのように異なるか、文章全体の印象にどのように影響を与えているのか、などを話し合いました。さらに、文法を「教える」ことについて話し合った際には、一口に「英語の文章」といってもそのジャンルごとに語や文法の使われ方が違うことを、自分が英語を教える立場になったらどうやって説明するのか考えました。学ぶ目的やレベルによっても変わるなど、難しくも興味深いトピックでした。

- Intro to Linguistics

この言語学の授業では、前半に音声学や morphology、syntax tree などのトピック、後半は sociolinguistics のトピックを扱いました。特に sociolinguistics は奥が深いと感じ、例えばジェンダーや地域差など言語以外の要因が言語に深くかかわっていることを学びました。日常会話を録音して会話を分析する課題では、会話の中でトピックがどのように変わっていくか、話題提供がどのように行われているか、沈黙の時間はどのようにか、他のクラスメイトの分析とどのように異なるのか、などをディスカッションしました。何気なく話す会話でもこうして分析してみると改めて気づくことがたくさんあり、とても面白かったです。現在は最終レポートの内容をシェアするプレゼンを行っていて、私も準備をしています。

- Academic Speaking

この授業では、3週間に1回くらいのペースでこれまでに4回ほどプレゼンテーション・ディスカッションを行いました。プレゼンテーションはペアになった学生を紹介する Introduction Speech、物の仕組みを説明する Description Speech、順序を追う Process Speech を行い、今月は専門分野の用語を用いたプレゼンとディスカッションをまとめるディスカッションリーダーの練習をしました。4人というかなりの少人数授業ということもあり、それぞれのプレゼンの後に先生と一対一で発表のビデオを見返して一緒に評価のプロセスを見れたことで、今後への改善点を確認できたことがよかったです。

- Elementary Chinese

授業を通して中国語の自己紹介や簡単な日常会話の仕方を学びました。漢字をある程度知っているリーディングやライティングに比べ、リスニングはとても難しいです。それでも、台湾からきている同じく交換留学生の友達や卓球クラブの中国人の友達など、私の周りに中国語を話せる友達がたくさんいることが良いモチベーションになり、最後までやりとげることができそうです。残る期末テストも頑張ります。

2. 生活の状況

アメリカの大きなイベントの一つ、サンクスギビングがありました。22日から5日間のサンクスギビング休暇で、そのうち3日間をホストファミリーと過ごすことができました。23日当日にはホストファミリーの親戚の家にお邪魔させていただき、一緒にサンクスギビング料理を食べました。家族や親戚が集まって伝統料理を食べたり、翌日のブラックフライデーで買い物を楽しんだりするのは、日本のお正月に似ているなと思いました。



感謝祭当日以外にも、留学生向けのイベント等でサンクスギビングの料理をいただく機会がたくさんあり、なんと5回も食べました。体重計に乗るのがとても怖いですが、サンクスギビングで食べられるアメリカ南部料理に詳しくなったので、いくつかの料理を紹介したいと思います。



Deep Fried Turkey
(フライド・ターキー)

七面鳥を丸ごと揚げます。外はジューシーですが、中は意外とさっぱりしています。



Dressing
(ドレッシング)

コーンブレッドと呼ばれるパンや、細かく刻まれた野菜、鶏肉などが入っています。



Green Beans Casserole
(グリーンビーンズ・キャセロール)

インゲンの上にフライドオニオンがトッピングされています。



Sweet Potato
(スイートポテト)

スイートポテトの上にピーカンナッツやマシュマロがかかっていたりします。おかげで感覚で食べますが、完全にデザートです。



Banana Pudding
(バナナ・プディング)

パイやケーキなど様々なデザートを試した中で、私のお気に入りはこちらです。バナナ味のクリーミーなプリンです。

サンクスギビング料理 画像参考

SAVEUR. (2016). "A Classic Southern Thanksgiving."

Food Network. "Southern-Style Thanksgiving Meal."

感謝祭が終わると、今度はクリスマスの準備が始まります。ホストファミリーの親戚の家では、一足早くクリスマスツリーの飾り付けがされていました。木の部分が隠れてしまうほどの飾りにはとてもびっくりしました。

最後に、感謝祭では日ごろ感謝していることを “I’ m thankful for ~.” と言ってみんなでシェアするそうです。I’ m thankful for my family, friends and everyone who has kindly supported me. 自分の留学を応援し支えてくださるすべての方に感謝し、与えられた期間を少しでも濃いものにできるよう、残りの留学生活を送っていきたいです。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01～2017/12/31)

秋学期が終わり冬休みに入った今日は、期末テスト、12月で帰国する友達との別れ、旅先での新たな出会いなど様々な出来事があった、とても濃い一か月になりました。13日に最後の期末テストを終え、やっと突っ走ってきた留学生活に一息つけるなど感じるとともに、今月で留学が折り返しになるので、これからの約4カ月をどのように過ごしていくのか、自分なりの目標を立てながら考えていきたいなと思います。



↑アラバマでは珍しく雪が降りました。 ↑寮の留学生メンバー。悲しいお別れです。

1. 勉学の状況

11月下旬から12月中旬にかけて、期末テストがありました。授業によってテストやレポート、プレゼンテーションなど最終課題の形は異なりますが、私のとっていた授業では試験日やレポートの提出日がうまく分かれていたので、限界まで追いつめられることなく終わることができました。約一週間後にオンラインで評価を見ることができ、どの授業も頑張ったなりに良い結果をもらうことができ良かったなと思いました。

アメリカで迎えた初めての学期を振り返ってみて、最初は大学のシステムや授業スタイルの違いに戸惑いたくさん失敗もしましたが、自分の興味のある言語学の授業を中心に、リーディングやディスカッションなどを通してたくさん学ぶことができました。聴講させていただいた第二言語習得の授業は内容も複雑で難しかったですが、言語教育を専門分野に持つTESOL専攻の学生に交じってディスカッションできたことは、自分にとってとても良い勉強になりました。来学期は言語学だけでなく英語教育学、コミュニケーション学などの授業もとりたいなと思っており、新しい授業にドキドキわくわくです。

また、自分自身の英語力についても少し書きたいと思います。英語圏に留学すること

で得られるメリットのうちの一つに英語力の向上があるかと思いますが、この4カ月で私の英語力がどの程度伸びたのか、自分自身では正直わかりません。何か変わったことがあるかと聞かれば、気持ちの面で変化してきたかな、と感じます。留学生活のはじめは、人に会うごとに“How are you?” “How’s it going?”などの挨拶をする習慣に慣れていなかったり、よく使う単語でもなかなか頭から出てこない、など日々英語を話すことを苦痛に感じていましたが、今では「挨拶ではこう返せばいいな」「こういう話題にはこういう単語が使われるだろうな」という予測をたくさんできるようになってきたことで、会話をすることが楽になってきました。とはいっても、その予測が通用しない場面も多々あり、言いたいことが思うように言えなくて悔しい気持ちになっては、後でそのときどうやって言えばよかったのか振り返る、という流れの繰り返しです。留学も折り返しになりますが、英語力に関して春学期は、伝えたいことをより細かく伝えられるようにすることを目標に、また秋学期よりも授業のディスカッションに多く参加できるように、頑張っていきたいです。

2. 生活の状況

12月16日から1月9日までの約1か月間、アラバマ大学は冬休みに入ります。多くの学生は実家に帰省しますが、私は日本には帰らず、アラバマ大学で仲良くなった友達の家で約2週間ホームステイさせていただき、クリスマスと一緒に過ごしました。その後はアラバマに戻り、残りの2週間を寮でのんびりしたり、ホストファミリーや日本から訪れている両親に会うなどして過ごしています。

テキサスでのホームステイの間には、友達とその家族に本当にお世話になり、たくさんの経験をすることができました。クリスマスの朝に家族でプレゼントの交換を行うため、クリスマスまでの約1週間、友達とほぼ毎日クリスマスショッピングをしました。テキサスのなかでも大きな2つの都市、ダラスとフォートワースのモールに行き買い物をし、またダラスの大きな日本モールに行きラーメンやかつ丼などタスカルーサでは食べられない日本食を堪能しました。さらにテキサスで有名なTex-Mex(テキサス風アレンジされたメキシコ料理)やBBQを食べたり、Six Flagsというジェットコースターのパークに行ったり、大きなクリスマスツリーやイルミネーションがきれいな家を見たりなど、様々な経験をすることができました。温かく迎えてくれた友達とその家族に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ディズニーランドではありません。家のイルミネーションです！！→



- クリスマスの朝

クリスマスの朝に、フォートワースにあるホームレスの方が多く住む街へ行き、シャンプーや下着などの衛生用品、寒さをしのぐジャケット、食べ物などを配る経験をしました。ホームステイさせてもらっている友達とその家族と一緒に車で行きましたが、車から降りて物が入った段ボールを取り出そうとしている最中に周りからたくさんの方が集まってきて、そのときは正直少し怖く感じました。日本でホームレスという言葉を知ると、1人で生活しているというイメージが勝手にあったのですが、訪れた場所ではおそらく50人くらいの方が区域一帯にまとまって生活しており、規模が大きくて本当に驚きました。たくさんの方がとても喜んで見えるように見え、“Merry Christmas”と声



を掛け合いました。クリスマスはキリスト教に深くかかわる祭日で、今まで知っていたイルミネーションやプレゼント交換などだけでなくクリスマスの一面を感じられたように思います。

- 日本食を紹介

ダラスの日本食モールで材料を買って、ホームステイさせてもらっている友達家族に日本食（カレーライス、お好み焼き、焼きそば、どら焼き）をふるまいました。日本食と言えばこれかな、と勝手に思った料理を作ったのですが、写真を撮ったときに「茶色いものばかり作ってしまったな…」と気づき、反省します。この中ではカレーライスが人気で、たくさん食べてもらえました。



これまでも何度か日本食をつくりましたが、私が感じているのは、日本食はアメリカで食べられている料理とはかなり違う、ということです。これまで、日本食は世界的に美味しいと認められている料理なのかな、と思っていましたが、アメリカの方には味付けなどがかなり新鮮なようで、またそれゆえに口にあうあわないが結構あると感じます。お好み焼きや抹茶のチョコレートなどの日本の食をふるまった際は、“This is different.” “This is interesting.”などの感想をいただきましたが、実際のところ味に対してどのように感じているのでしょうか、わかりません。なので、日本食を作って紹介するときは彼らの口に合うかな、食べてくれるかな、といつも緊張します。

留学生活も残り半分。自分が今ここで思いっきり学べることへの感謝の気持ちを忘れずに、2018年もたくさん学び、たくさん思い出を作っていけるよう過ごしていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/01 ～2018/01/31)

冬休みが終わり、1月10日から新学期が始まりました。新しい生活や勉強に毎日必死だった先学期の始まりと比べると、今学期はとてもしラックスしてスタートすることができ、授業に慣れつつも自分の時間や友達と交流する時間をしっかりととれるように心がけることができています。



↑通学路。学内ではバスが走っています。

1. 勉学の状況

新学期早々雪が降り、二日間授業が休校になりました。アラバマ大学には車で通学している学生が多く、また普段雪が降らないので除雪等の設備があまりないことから、雪が降るとよく授業が休校になるようです。休みになった時間を使って教科書をそろえるなど授業の準備を余裕をもってすることができたので良かったです。

今学期は先学期同様4つの授業を履修し、1つの授業を聴講することにしました。専門の英語教育に関する授業は一つだけですが、どの授業も自分の興味のある内容なのでとても楽しみです。それぞれの授業の内容について簡単に書きたいと思います。

● COM 220 Interpersonal Communication

コミュニケーション学部の授業で、授業名のとおり個人間やグループでのコミュニケーションについてや、人の性格や言語、年齢、文化などのコミュニケーションにかかわる様々な要因について学びます。授業の最初の課題は、教授とスターバックスで30分日常会話しそのレポートを書くというもので、緊張しましたがユニークな課題でとても楽しかったです。

- ANT 210 Language and Culture

人類学部の授業で linguistic anthropology の視点から言語と文化について考える授業です。人類学に関する授業をとるのは初めてで、背景知識がないので授業の内容についていくのが少し難しく、さらにこの授業は受講生が 80 人ととても多いので、わからなくて考えている間にどんどん授業が進んでいってしまいます。まずは予習のリーディング課題をしっかりと読んで授業に臨むということを習慣づけていきたいです。

- CIP 200 Intro to Global Studies

世界各国の情勢や問題について考えディスカッションをする授業です。専攻分野ではないのですが、アラバマ大学の留学生担当の方のおすすめもあってこの授業をとることにしました。様々な国のニュースを見て行う課題や、世界の地域ごとにディスカッションリーダーを決めてグループで話し合う課題などがあります。私は日本とカリブ海地域の回でディスカッションリーダーを担当することになったので、準備をしていきたいと思います。

- CHI 102 Elementary Chinese 2

秋学期にも中国語を取りましたが、クラスメイトと仲良くなったこと、ルームメイトをはじめ中国語を話す友達がたくさんできたこともあって、引き続き中国語の授業をとることにしました。今月は電話での会話や時間に関する表現を学びました。この授業で習ったことを生かして、いつか中国に旅行に行きたいな、といつも思っています。

- EN 610 TESOL Theory and Practice (聴講)

こちらも秋学期に引き続き、TESOL 専攻の大学院の授業に聴講生として参加しています。他言語話者への英語教育の理論と実践が主な内容で、今月はいろいろな教授法の歴史を勉強したり、それらを先生が実際に模擬授業形式で紹介するなどの活動をしました。また、この授業の課題としてアラバマ大学内の語学施設の授業を観察するというものがあるのですが、聴講生の私も観察できるかお願いしたところ、許可をもらうことができたので、来月から観察に行きたいと思います。

2 学期とも大学院生向けの授業を聴講できることになったのですが、正直最初は聴講を許してもらえるか全くわからない状況でした。私の場合は留学前日本にいる間に二人の教授に聴講してもいいかメールをしたのですが、受け入れてもらったのは今とっている授業の教授だけでした。普通に考えると留学生で学部生の私が授業に参加するのはかなり無理があるかなと思っていたのですが、

授業形態がグループワーク中心でなくクラス全体でのディスカッション形式であったことと、その教授が去年日本に来ていたときに行っていた無料のセミナーに参加し実際に声をかけたことで、聴講のお願いを受け入れてもらいやすくなったと感じています。大学院生向けの授業は学部の授業に比べてリーディング課題が圧倒的に多く大変な面もありますが、今期も頑張りたいと思います。

2. 生活の状況

1月に入ってから学期が始まるまでは寮でのんびり過ごしていたので、ホストファミリーの家に遊びに行ったり、新しく来た交換留学生の友達にキャンパスを案内したりしていました。先学期は20人ほどいた交換留学生ですが、多くの仲間が12月で帰国してしまい、また今学期から新しく来るのが1人ということで、現在交換留学生は私を含め5人です。少し寂しいですが、このメンバーで約4カ月、たくさん思い出を作っていけたらなと思います。



↑ 友達と散歩した近くの川沿いの道

交換留学生の人数が減った関係から寮の部屋割り編成が行われ、私は今学期のルームメイトが先学期と変わって、新しく来た中国人の交換留学生の子と部屋をシェアすることになりました。最初はルームメイトが変わるということで、いろいろ新たに適応していかなければならないのかと少し大変に思っていました。実際にルームシェアをし始めると前のルームメイトよりも起床就寝など

の生活リズムが似ていて生活しやすく、また彼女は日本語を勉強し、私は中国語を勉強しているので、いつもお互いに教え合うことができとても楽しいです。ルームメイト次第で生活も大きく変わってくるので、素敵なルームメイトに出会えてよかったなと思いました。

● アラバマ・フットボール

アラバマ大学はフットボールチームが強いことで有名ですが、今シーズンはなんと全米のカレッジフットボール大会で優勝しました！1日に準決勝、8日に決勝戦が行われ、私は家族や友達と一緒に観戦しました。優勝が決まった後は町全体がすごく盛り上がっていて、いたるところで叫び声が聞こえたり、バーの周りにもものすごい人が集まっていました。アメフトは本当にアラバマの文化の一つだな、と感じます。数日後にはキャンパスで優勝パレードが行われ、見に来た大勢の人の中を、選手や監督がたくさんのボディーガードやカメラマンに囲まれながら歩いてスピーチをするという、もはや同じ学生でなくプロチームのセレモニーのようでした。このような年にアラバマに来ることができてとても嬉しく思います。



↑優勝パレードの様子。後ろにあるのはアラバマ大学のフットボールスタジアムです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01 ~2018/02/28)

2月は日にちが少ないからでしょうか、あっという間に過ぎてしまったように感じます。秋学期と比べるとアメフトやサンクスギビングのように大きなイベントがない分、毎日をのんびり過ごすことができ、また交友関係においては新しい場所にたくさん参加するというよりは、仲のいい友達とたくさん時間を過ごすことが多くなってきたように思います。

1. 勉学の状況

2月下旬に多くの授業で中間テストがありました。今回のテストの多くは multiple choice 方式だったので、記述式テストに比べると簡単でした。それでも授業の講義で 100%内容を理解できていないので復習には時間がかかり、とても忙しいテスト期間を過ごしました。それぞれの授業ごとに内容を振り返りたいと思います。

COM220 Interpersonal Communication

今月は主に Verbal communication と Non-verbal communication について学びました。同じ絵でも人によって捉え方が違うことや、テキストメッセージに使われる絵文字の解釈の仕方の違いについて学んだ際には、自分の生活に大きく影響している SNS の使い方についても考えさせられました。この授業の教授は出欠をとるときに学生一人一人に質問したり、天気の良い日には教室の外に出て屋外で授業を行ったりと、いろいろと工夫して授業をしてくださる方です。

ANT 210 Language and Culture

この授業の中間テストは選択式のクイズが 20 問と比較的簡単でした。これから細かいプロジェクトがいくつかあり、自分で言語人類学に関するリサーチトピックを決め、実際に自分の周りの人にインタビューをしてそれを文字おこしし、分析していきます。

CIP 200 Intro to Global Studies

これまでに北米、中米、ヨーロッパ、ロシアなどの地域を扱い、それぞれの地域の歴史、経済、政治、文化などを学んでいます。各地域の最初の授業回で確認クイズが出されるのですが、私が高校で習った世界史の知識よりも深い知識が

問われるので、世界の歴史や情勢を知るのにとってもよい勉強になります。この授業では世界各国の新聞を読んでレポートを書くという課題が数回あり、それがきっかけで世界のニュースや新聞記事をチェックするようになりました。同じ出来事について書かれた記事でも、新聞社やテレビ局ごとに捉えられ方が異なっていることに気づき、一つの情報だけで判断しないようにしなくては、と強く感じました。

CHI 102 Elementary Chinese 2

相変わらずとても楽しく学んでいます。先生が授業の最初に中国語の歌や面白いテレビ番組などを紹介してくれたり、教科書にはないカジュアルな表現なども教えてくれて、そうして習った中国語は個人的にすごく記憶に残りやすいです。また部屋で中国語の課題をやっていると中国人のルームメイトが私の文法や発音を直してくれるので、本当に感謝です。

EN 610 TESOL Theory and Practice

週に一回の授業ですが、リーディング課題がとても多く大変です。今月はそれぞれの教育法で使われている教科書の分析や、学習ストラテジー、テクノロジーの利用などについて学びました。教科書の分析では何十年も前の教科書と最近の教科書を比べ、文法重視の教育から Task-Based, Communicative Language Teaching など比較的新しい教育法への移り変わりを読み取りました。この授業で学ぶ内容は理論的なものが多く、直接英語の授業に生かせるかというところと一段階ステップがあるかな、という風に思うので、この授業で学んだ TESOL の理論をどのように実際の授業で生かせるのか自分なりに考えながら授業を受けていきたいです。

2. 生活の状況

千葉大学の短期留学プログラムでアラバマ大学に来ている学生の方々に会いました。自分も 2 年前にそのプログラムでアラバマ大学に一度来ていたので、その時のことをたくさん思い出しました。一カ月留学の時は、新しい環境や新しい友達に毎日新鮮で留学がとても長く感じましたが、今派遣留学生として長期留学していて、同じ一カ月なのにあっという間に過ぎ去っていくので、体感する生活密度の差に自分でもとてもびっくりしました。千葉大学の方と久しぶりに交流できて、また自分の留学を改めて見直すきっかけになり、とても良い機会でした。

- Chinese New Year

2月中旬からの約2週間は、中国で一番大きなイベントにあたる春節の時期になるそうで、私は中国人のルームメイトと一緒に春節用の装飾で部屋を飾りつけし、また中国でとても有名な新年カウントダウンのテレビ番組動画をルームメイトが私に紹介してくれて一緒に見ました。中国では赤が縁起のよい色とされているので装飾は赤いものが多く、また動画で見た中国の建物やイルミネーションもすごく豪華でとても驚きました。もし興味があれば、動画のリンクを載せているので見てみてください。番組自体は5時間ととても長いですが、カウントダウンは4:35:40あたりから始まります。アメリカはもちろん、いろいろな国や地域の文化を、実際にそれを体験している人から学べるということは、とても貴重で嬉しい経験だなと思います。

直播回看：2018 中央电视台春节联欢晚会（完整版） | 2018 CCTV Spring Festival

Gala <https://youtu.be/FeRi86DcfyA>



↑ 部屋のドアの装飾

- バレンタインデー

アメリカのバレンタインデーは日本のバレンタインデーと少し違い、面白いなと思ったので紹介したいと思います。日本では女性から男性にチョコレートを贈るのが一般的で、本命チョコや義理チョコ、友チョコなどたくさんのチョコがあると思いますが、アメリカでは男性から女性に花やプレゼントを贈ったり、ディナーに誘ってご飯代を払う、などが一般的だそうです。チョコレートを渡すこともあるそうですが、日本の義理チョコのように恋愛関係にない人に渡すことは絶対になく驚きました。バレンタインデーのほかにもアメリカでは男性から女性に何かをすることが多いような気がして、例えば普段の生活からレディーファーストが徹底されているように感じ、女性にとって素敵な国だな、と思いました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/01 ～2018/03/31)

1. 勉学の状況

中間テストが終わり、春学期も後半に入りました。予習のリズムをつかめてきたことからそこまで忙しくなるということはなく、各授業の課題に余裕をもって取り組むことができたと思います。

Language and Culture のクラスでは、言語人類学に関する調査のため、家族にいくつかの質問をしてそのインタビューを文字起こしし、記号なども用いながらスクリプトを完成させる課題がありました。20分ほどのインタビューのスクリプトを作るのに、レコーディングしたものを何度も聞き直し、書き起こした日本語の英語訳を書いたり、声のトーンや間の空き方によって記号を付け加えたりするなどして、とても長い時間がかかりました。これからそのインタビューをもとに調査テーマの考察をしていきます。

TESOL Theory and Practice のクラスでは、今月は Teaching Listening, Teaching Speaking についての内容を扱いました。発音指導の様子についてのビデオを見た際には、第二言語話者への発音指導だけでなく、英語の母語話者でも訛りを持つ人への発音トレーニングの様子なども紹介されており、英語のスピーキングにおいて発音は最も大切な要素の一つであることを改めて学びました。またこの授業では、各学生がそれぞれの授業で模擬授業を行っており、学生の方は毎回ユニークな活動をたくさん発表しています。自分も教える側に立ったらそれらの活動のアイデアをぜひ取り入れてみたいと思います。さらに、先月にこの授業の一環で、アラバマ大学の語学施設の英語の授業を観察しに行かせてもらう機会がありました。私はリスニング・スピーキングの授業を三回ほど見学させていただき、英語の発音やイントネーション、語彙を増やすことなどに重点が置かれている授業の様子を観察しました。

Intro to Global Studies の授業では、一回目のディスカッションリーダーを無事に終えました。この授業の、新聞やニュースを読む課題をやっている思ったことなのですが、ニュースを読むことで圧倒的に新しい単語を覚えるな、ということです。普段生活している中で使う単語は限られていて難しい単語はそこまでないですが、新聞の中ではアカデミックで難しい単語や表現がよく使われていて、文章を理解するのに何度も辞書を引いています。少し大変ですが、授業がなければ知らなかった世界の情勢などをたくさん知ることができたり、英語の勉強にもなるのでとても興味深いです。これからもコンスタントにニュースをチェックしていきたいです。

2. 生活の状況

3月10日から18日まで約一週間の春休みがあり、私はホストファミリーと一緒にフロリダに行きました。フロリダはアラバマ州と隣り合っていて、また3月でも半袖でも過ごせるくらい温かくなることから、多くのアラバマ大学生が春休みに旅行に行く場所の一つのようです。フロリダではオーランドにあるユニバーサルやシーワールドなどの観光地に行ったり、アメリカで有名なブルーマングループのショーを見たりしました。アラバマに来てから出会ったホストファミリーですが、旅行に誘ってくれるなど私のことをいつも本当の家族の一員のように受け入れてくれて、また旅行中には私の悩みを聞いてくれたりアメリカのことをたくさん教えてくれたりなどいつも支えてもらっています。このような素晴らしい出会いがあったことに感謝し、教えてもらったことを今度は私もどこかで伝えられたらと思います。

● EFTT

Exotic Food Tasting Trip (EFTT) という、世界のいろいろな国の料理を紹介するイベントに参加し、私は日本チームとしてカレーライスをサーブしました。約200人のお客さんが来るということで、前日にたくさんカレーを作り、小さな紙コップに入れて試食サイズにできるようにしました。たくさんの方が「おいしい!」とってくれて、また「自分で作りたいんだけどどうやって作るの?」と聞かれることもあり、このイベントで日本料理を紹介できてよかったなと思いました。



留学生活も、早いものであと一カ月ほどになりました。帰国したくない気持ちでいっぱいですが、ここで出会ったたくさんの人たちと少しでも多く思い出を作れるように、残りの留学生活、勉強も思い出作りも頑張っていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01 ～2018/05/11)

最後の月間報告書になりました。時間がたつのは本当に早いです。“Time flies.”とよく言いますが、ルームメートは“Time flies like a rocket.”とっていました。留学生生活を振り返りつつまとめたいと思います。

1. 勉学の状況

期末テストをすべて終わりました。どの授業もそこまで試験が難しくなかったので、Dead Week と呼ばれる最後の一週間もあまり忙しくなることなく終わることができました。ですが、最後の試験が終わったときには、この2学期間がんばってきた思いがこみ上げてきて、「やり切った！」という達成感が本当に大きかったです。

COM 220

グループプレゼンテーションとレポート、最終テストがあり、無事終わったので良かったです。この授業は専攻とは直接関係はありませんが、日常生活と密接にかかわるコミュニケーションの様々なトピックが扱われ、実生活に取り入れられそうなスキルをたくさん得ることができたので良かったです。

ANT 210

今月はジェンダーや言葉の持つパワー、アフリカンアメリカン英語などの英語のアクセントなどについて学びました。この授業はアクティビティが少なく、また内容も抽象的なものが多いことから、正直最後まで理解するのに苦戦しました。それでも、今まで学んだことのなかった人類学の視点から言語を考えることができ、挑戦してよかったと思いました。

CIP 200

今月は日本についてのディスカッションリーダー、海外映画の分析レポート、期末テストの3つがありました。日本について改めて調べていて、特に第二次世界大戦の時のことなど今まで習ったことがなかった出来事をたくさん知り、すごく考えさせられました。海外映画レポートでは日本の「千と千尋の神隠し」を選び、この映画が日本のどのような文化や考え方を反映しているのかなどについてまとめました。この授業では、世界の情勢や文化について今まで知らなかったことをたくさん学べたので、本当に取ってよかったなと思いました。

CHI 102

今まで習ってきた文法や語彙を取り入れて 10 分ほどの映画を作るというプロジェクトがありました。クラスメートとペアになって作り、中国人の友達を招待して発音や文法の指導をしてもらったり、一緒に動画の中に登場してもらったりします。私とクラスメートは、仲の良い中国人の友達と私のルームメート、更に日本人の友達にも撮影に協力してもらい、動画を完成させました。大変でしたが、これまで習った中国語とここでできた友達が一つの動画にまとまっていて、作るのが本当に楽しいプロジェクトでした。

EN 613

今月は Teaching reading, writing and vocab, assessment, teacher development などについてディスカッションをし、また先月に引き続き学生の方の模擬授業がありました。中には第二言語でスペイン語を教える専攻の方もいるのでスペイン語の授業も聞いたのですが、私はスペイン語の知識が全くないので本当に生徒のつもりで授業を聞いていました。始めたばかりの生徒がどのようなところに不安を持つのかなど実際に改めて感じることができ、とても面白い経験でした。

2. 生活の状況

この一カ月、たくさんのお別れをしなければなりませんでした。お世話になった友達、ホストファミリー、先生たちと会って、この一年間にあったことを振り返っていろいろな話をしていると、優しくて素晴らしい方々に出会えたことが本当に幸せなことだなと思います。ここで出会い、いつも助けてくれた仲間や先生、家族、また日本から私の留学を応援し支えてくださったすべての方に感謝したいです。

4 月の出来事を少し振り返ると、トルネードが近くの町で起こりました。アラバマ大学でも毎月トルネード警報のテストがありますが、実際にその警報を聞くと本当に怖かったです。幸いキャンパスのあるタスカルーサ市にトルネードは来ませんでした。近くの町で被害があったようです。

またそのトルネードの日が、「さくらまつり」という日本紹介イベントの日と重なってしまい、イベントは中止になってしまいました。日本語カンパセーションカフェのメンバーでソーラン節を披露するためみんなで練習したり、浴衣の着付けや日本のゲームのブースを用意しよう、などいろいろな計画していたので、なくなってしまって本当に残念でした。



友達が帰国前にくれた素敵なプレゼント。今となってアラバマは、私にとって絶対に帰ってこようと思う Home です。



春のキャンパスも、緑が明るくてとてもきれいです。

最後に、この留学を通して本当にたくさん学び、たくさんの経験をさせていただきました。自分が将来やりたいことも、留学を通して少しずつ変化し、新しい選択肢が広がりました。この留学をサポートしてくださったすべての方に感謝し、帰国後もこの留学の経験を生かせるようがんばっていきたいと思います。本当にありがとうございました。